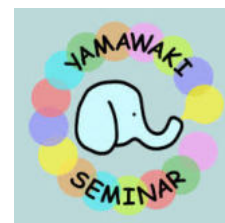


第12回 なかの多文化共生 フォーラム



テーマ

多様性のあるやさしいまちをめざして
～災害時の多文化共生～



2024年
12月4日(水)
17:30-19:40



明治大学
中野キャンパス
6Fプレゼンスペース

主催：明治大学山脇ゼミ

協力：中野区、アクラス日本語教育研究
所、ランゲージワン株式会社

群馬県 公民館職員向けワークショップ

千葉亮伍



中野区長と留学生の懇談会

パク・スミン



杉並区立新泉和泉小学校 小学生向けワークショップ

大西佐和



第1部 山協ゼミの活動報告

17:30~18:20

静岡県主催 多文化共生フォーラム

野口愛琉



なかの生涯学習大学との合同ゼミ

西村結衣



中野区役所職員向けワークショップ

石丸純暉



GTN社員向けワークショップ

藤井美吹



横浜市立学校教員向けワークショップ

藤田千颯



MORE&横浜市中区くらし案内動画

関川愛菜



【栃木・那須・やさしい日本語】『那須テディベアミュージアム』のワークシ...

2024.09.05 ♡ 2



第1部 山脇ゼミの活動報告

17:30~18:20

豪州合宿

木村奏美



中野にぎわいフェスタ

ソン・スヨン



東京都主催プレゼンコンテスト

石田菜々美、猪飼千紗、田路さくら、長谷川廉、馬場葵



10分休憩

「災害時の多文化共生」

南海トラフ地震に対する注目が集まる今日、「災害時における多文化共生」に関する課題を取り上げます。災害時に誰もが自分の命を守り、異なる文化を有する人々と助け合うまちを作っていくため、我々はどう行動していけば良いか、参加者の皆さんと一緒に考えます。

トークセッション

災害時の多文化共生のため、我々はどう行動していくべきか

2011年東日本大震災の経験及び反省点を共有し、「災害時の多文化共生」という主題について「過去」・「現在」・「未来」の観点からパネリストのお二人とともに、多文化共生社会をどのように形成していくかをより深く考えていきます。

前半

18:35~18:55

多文化防災ロールプレイ

仙台観光国際協会が作成した「多文化防災ワークショップ ケーススタディ」を使用したロールプレイを通じて、災害時に避難所で日本人住民と外国人住民の関わりにおいて発生する課題を確認し、他の参加者の方々とロールプレイの感想を共有していただきます。

後半

18:55~19:40

モデレーター



嶋田 和子

アクラス日本語教育研究所 代表理事

- ・ 長年、さまざまな機関において、対話を重視した「人・社会とつながる日本語教育」を実践。すべての人が「自分らしく生きられる社会づくり」を目指す。
- ・ 著書：『外国にルーツを持つ女性たち 彼女たちの「こころの声」を聴こう』（ココ出版）

パネリスト



カブレホス・セサル

ランゲージワン株式会社 執行役員

- ・ 日系ペルー人。
- ・ 1990年、11歳で来日し、2006年より遠隔通訳者としてのキャリアを開始。
- ・ 日本初の119番多言語コールセンターの立ち上げに参画し、現在はランゲージワン株式会社で多文化共生推進ディレクターを務める。



君塚 充利

中野区 総務部 防災危機管理課 防災対策係長

- ・ 災害時の役割
 - 中野区 災害対策指令部 指令班副班長
- ・ 担当職務
 - 中野区災害対策態勢の編成・管理
 - 職員訓練の調整・実施
 - 避難所備蓄物資管理

コメンテーター



酒井直人
中野区長



山脇啓造
明治大学教授

フォーラムのテーマ

「多文化共生」について

総務省が「地域における多文化共生推進プラン」（2006年）を策定して以来、全国の自治体で多文化共生の取り組みが進んできました。2020年にはプラン改訂版が出され、地域における多文化共生は「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義され、具体的には「コミュニケーション支援」「生活支援」「意識啓発と社会参画支援」「地域活性化の推進やグローバル化への対応」の4つの柱が示されました。

2000年代まで日本の自治体の取り組みの多くは、外国人支援に関わるものでしたが、2010年代以降、欧州における「インターカルチュラルシティ」の取り組みを参考に、多様性を活かしたまちづくりへの関心が高まっています。外国人住民の存在がもたらす多様性を、まちの活力の源泉とする考え方は、そして、多様性を活かすには、多文化共生の意識づくりが重要です。

オリンピック・パラリンピック開催を経て、多様な人が共に支え合う「インクルーシブシティ」を目指す東京都、そして多様性の尊重を目指した条例を制定した中野区でも、多文化共生の意識づくりに関する関心が高まっています。政府も2018年に「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策」を、そして2022年には「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」を策定し、共生社会づくりに力を入れています。本フォーラムでは、外国人も日本人も住みやすいまち、そして多様性のあるやさしいまちをつくるにはどうしたらよいか、皆さんと共に考えたいと思います。

「山協ゼミ」について

「多文化共生のまちづくり」をテーマに、多様な団体を連携し、ワークショップやセミナー、イベントなどを行っています。私達は、「実践志向」・「地域密着」・「社会連携」の観点から活動を行うゼミです。

4年（14期）：千葉亮伍（ゼミ長）、佐山奈那（副ゼミ長）、西村結衣（副ゼミ長）、稲葉紗也音、小沼明日香、塩見瑠空、関川愛菜、ソン・スヨン、チェ・サンミン、中込伶唯、中塩千尋、野口愛琉、藤井美吹、森遥奈、藤田千颯

3年（15期）：石田菜々美（ゼミ長）、猪飼千紗（副ゼミ長）、木内彬乃（副ゼミ長）、石丸純暉、オウ・シンキ、大西佐和、木村奏美、田路さくら、長谷川廉、馬場葵、パク・スミン、藤澤采夏

参加後のアンケートのご協力をお願いします！

